

令和6年度第1回学校関係者評価委員会報告

1 開催日時

令和6年6月21日（金） 15:30～16:30

2 場 所

本校会議室

3 参加者

萩原聖司（南九州市立川辺中学校長） 菊野竜一郎（菊野病院長）
有馬小菊（こばとこども園） 辰野正寿（川辺町スタンプ会会長）
伊地知（校長） 西（教頭） 加治佐（事務長）
寺田（進路指導主任） 當房（生徒指導主任） 福寄（保健主任）

4 内 容

(1) 校長挨拶

(2) 参加者自己紹介

(3) 学校の経営方針等

校長から「学校経営方針」「今年度の努力目標」等の説明があった。

(4) 学校の概況説明等

各部主任より、基本方針、年間計画及び関連する行事について説明があった。

最近の話題から 新聞記事等の紹介を行った。

B 「病院での書道部作品は素晴らしい。音楽部の定期演奏会もすばらしかった。」

「学校でタブレット端末などICTを活用しての授業あると思うが、生徒が先生の話のきいているのかわからないのではないか。」

進路指導主任 「大型提示装置を活用しているが、そのようなことはない。また、タブレット端末を活用して配布物を配信することで生徒は自宅でも見て学習に活用できるなどタブレット端末はよいツールである。」

A 「総合的な探究の時間の活動内容を教えてもらいたい。」

教頭 「スタディバレーのコンテンツを活用し、地域の企業等の課題解決を行っている。現在は、探究を進めるための学習を行っている。」

A 「生徒の事故内容は単独か？」

生徒指導主任 「ほとんどが単独のバイクの事故である。」

A 「スタディサプリの導入の経費とキャリア教育の取り組みについて教えてほしい。」

進路指導主任 「スタディサプリについては、市の補助により半額補助がある。」

「キャリア教育については、講演会の実施、目標を見つけるための夢ナビの活用、鹿児島大学の訪問及び大学進学先輩の講話、大学や短期大学の教授等による出前授業など行っている。」

(5) 協議「スクールポリシーについて」「学校評価アンケートについて」「学校活性化（募集定員確保）に向けて」

教頭より、「スクールポリシー」「学校評価アンケート」について説明を行った後に、各委員と意見交換を行った。

- B 「書きぶりが難しくないか？公德、道義心など分かりやすくした方がよいのではないか？」
- 校長 「検討する。」
- B 「ポリシーは全ての学校で同じように作成しているのか？」
- 校長 「県立では、それぞれ同様に作成している。」
- A 「自己推薦入試の実施は決定しているのか？」
- 校長 「現在、検討中である。」
- C 「自己推薦入試は生徒の強い要望で出願できるのか。」
- 校長 「従来の推薦入試は、中学校等の校長の推薦によるが、自己推薦入試は中学校等の校長の推薦が必要ないことにはなる。」
- C 「自己推薦入試の実施と学力についてはどうか？」
- 校長 「様々思うことはあるが、まずは川辺高校の教育課程について行けないなど生徒自身がつらい思いをしないようにしていきたい。」
- D 「川辺高校は、中学生にとって、学力でのハードルが高いと思われる。」
- B 「現実以上の、ハードルの高さを川辺高校に持っているのではないか。」
- A 「バスの運行状況も厳しくなっていることで地元川辺高校を目指すこともあると思うが、部活動の少なさは中学生等が高校を選択する上ではネックになっている。」
- D 「パンフレットを見て、少ない人数ながら国公立大学への進学についてはかなりの数の生徒がいることは素晴らしい。もっとアピールすべきである。地域の方は、川辺高校からどの大学へ行っているかなど知らない方も多い。」
- 教頭 「校門近くに掲示はあるが、別の掲示等も活用を検討したい。」
- C 「高校からの広報だよりなどがあるとよいがどうか。」
- B 「加世田高校、川辺高校など各高校広報だよりはある。」

学校評価アンケートについての意見等は後日でも意見を受け付けることを伝えた。

5 第2回の予定

第2回の開催は令和6年2月21日（金）15：30の予定

6 閉会のことば